

「とくしま未来創造プラン」  
～徳島からの新たな挑戦～

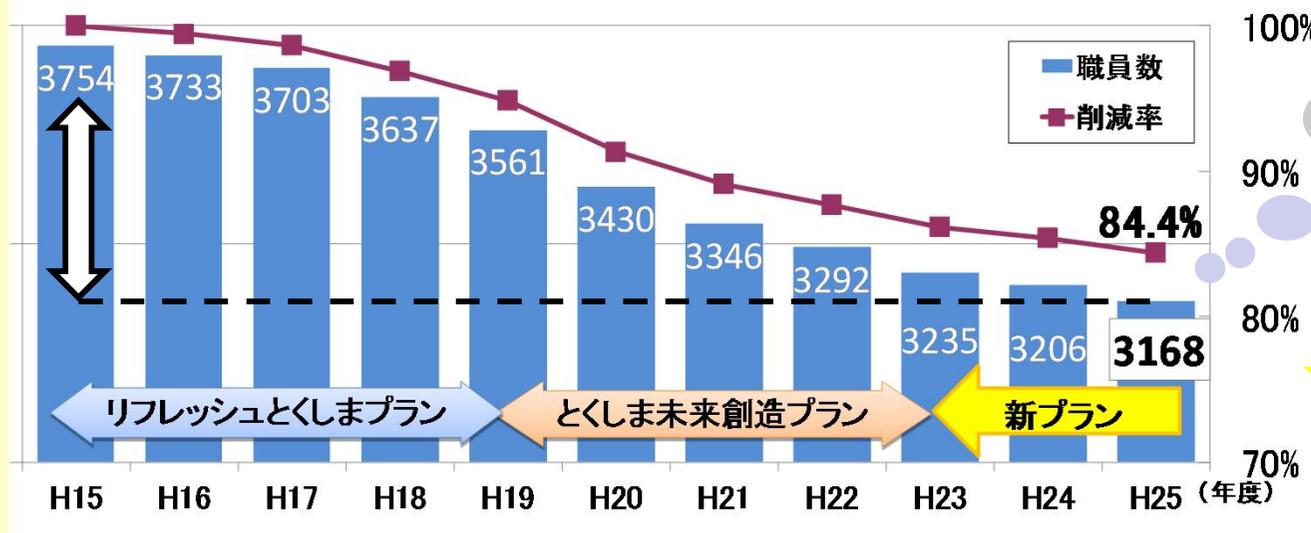
平成25年7月  
徳島県



# 1 「夢を支える経営体」づくり

## (1) 新しい人事・人材システムの推進

### ① 徳島県職員数の推移について



H15.4~H25.4(10年間)  
の期間で**586人**削減  
(**259億円**の人件費抑制)

知事部局の新規採用枠  
「3年連続100名超」  
21年ぶり

### ② 平成25年度・組織体制の新たな進化

#### ◆トップマネジメント機能の強化

○部長が部内を掌握、  
スピード感を持った  
政策対応

○組織のスリム化  
(総)局、本部数  
H24: 16 → H25: 13

#### ◆出先機関の本庁組織化の完成

○全機関の頭脳拠点化、出先感覚の打破  
出先機関数 H15: 82機関 → H25: 全廃

○プラン目標(H26)を1年前倒しで達成!

#### ◆従来からの職種固定概念の打破

○「事務・技術」  
区分の完全撤廃、  
適材適所へ

職員の流動化  
H15: 6人  
→ H25: 82人

#### ◆女性職員の本格登用

○男女共同参画の推進

女性役付職員(課長補佐級以上)  
H15: 42人 → H25: 112人

約3倍

### ③ 職員給与の臨時的削減について

国に先んじた

財政構造改革基本方針に基づく「職員給与の臨時的削減」の取組み

H20～22 職員給与の臨時的削減  
(H20.1～3月の前倒し実施分を含む)

給料	削減率	△10～7%
管理職手当		△15%
収支改善効果 130億円		

H23～24 職員給与の臨時的削減

給料	削減率	△5～1%
管理職手当		△15%
収支改善効果 26億円		

自主的な  
給与削減措置」や  
定数削減」などの  
行革努力」により  
配分

こうした中

H25.1.28 国による地方公務員給与削減要請

H25.5.15 地方交付税等削減を盛り込んだ国の予算成立

県民サービスを低下させないため、  
地域の安全・安心の確保のため

地方交付税削減に対応する  
「職員給与の臨時的削減」(H25.7～H26.3)

給料 削減率 ▲10～3%

期末勤勉手当 ▲5%  
(管理職のみ)

管理職手当 ▲10%

削減額  
約30億円

一方

地域の元気づくり事業費

これまでの行革努力  
が認められ  
標準的な算定額の  
**2倍**となる**約32億円**  
が配分！

地域の防災・減災、  
地域活性化など  
緊急課題に対応

## (2) 「新たな歳入確保」の展開

重点6項目

ふるさと納税

県税徴収率

広告事業

未収金対策

未利用財産

受益者負担の適正化

歳入確保実績  
H20～H24  
約54億円

### ふるさと納税

防災、減災対策など、  
7つの寄付金活用メニューで  
「ふるさと徳島」の魅力アップ



H24年度 5,465万円(174件)

### ネーミングライツ

新たに2箇所の「歩道橋」に導入  
計13箇所、愛称数26

年間収入 約5,400万円

### 未利用財産の有効活用

#### 徳島県企業局 メガソーラー (2箇所)

- ・マリンピア沖洲太陽光発電所  
(4月24日運転開始)
- ・和田島太陽光発電所 では  
(10月運転開始予定)

公営企業で  
西日本初

H24年度  
土地売却 11件 2.8ha  
土地貸付 7件 10ha

一石二鳥ならぬ三鳥四鳥の効果

- ・エネルギー安定供給
- ・メガソーラー促進、非常電源の確保

#### メガソーラー、PHV、EV活用実証実験 (H25)

政策  
提言

防災拠点や避難所への電力供給が可能に!

和田島緑地で充電



避難所等で  
照明・ラジオ等に利用



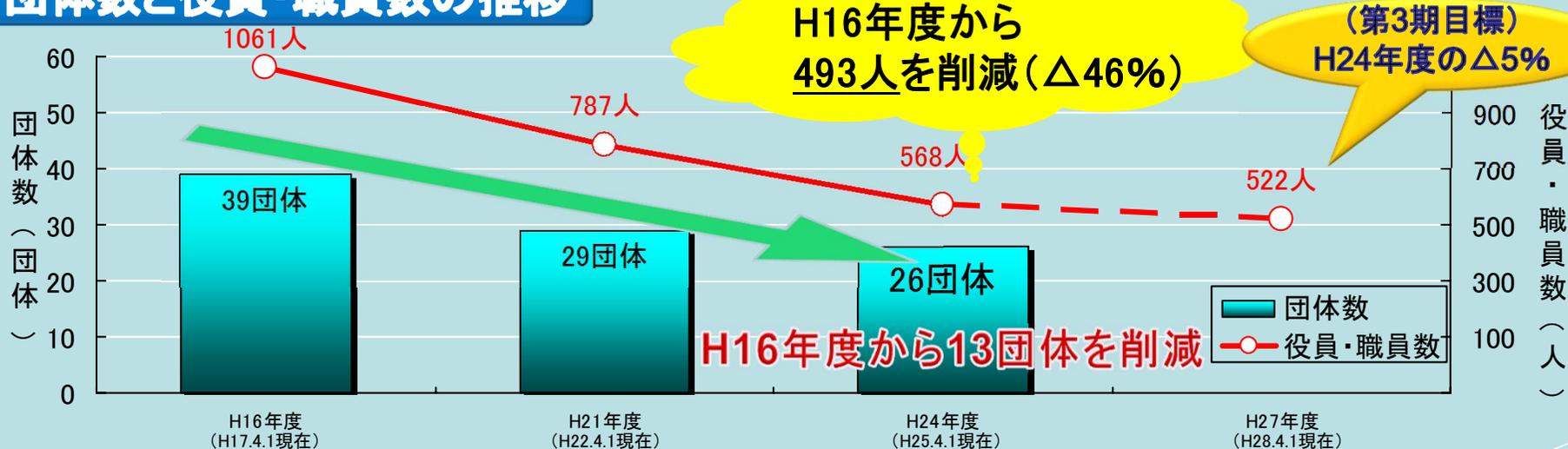
電源供給  
AC100V

小松島市、トヨタ自動車(株)、徳島三菱自販(株)との協働 4

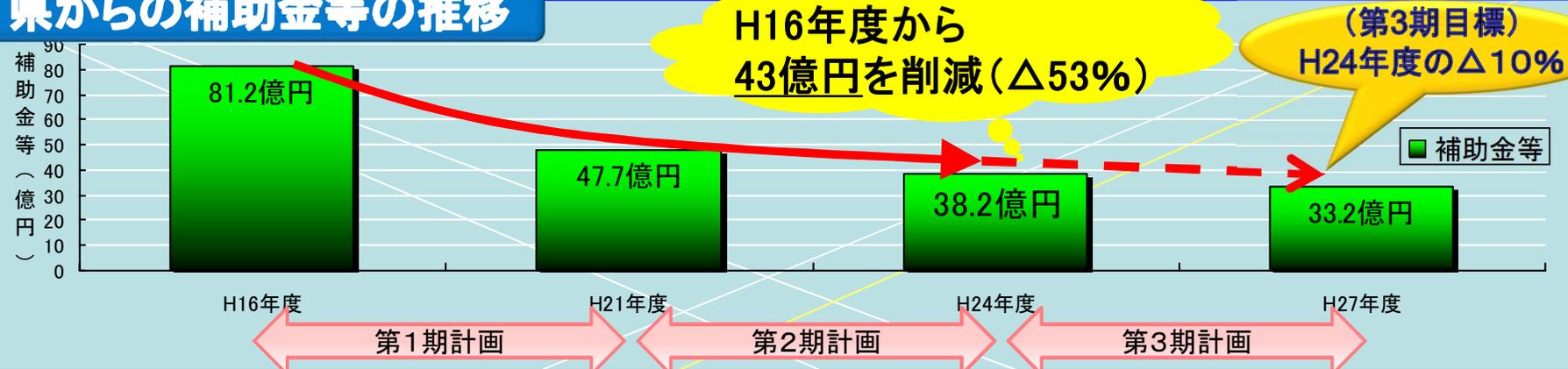
# (3) 外郭団体等の問題解決プランの推進

## ◆ これまでの成果と第3期計画の目標

### 団体数と役員・職員数の推移



### 県からの補助金等の推移



**大幅な「経営のスリム化」を実現**

**各団体が「第3期経営改善計画」を策定し、更なる経営の健全化を推進!**

## (4) 「活力みなぎる職場」づくり

### ① ICTを活用した業務・システム最適化

#### 航空券購入に係るオンラインシステムの導入

年間約1千万円の旅費縮減

これまでの手続きでは・・・  
○旅費が支給されるまで  
職員個人の立替えが発生  
○出張予定の変更による  
キャンセル料が発生

H25.10月  
システム導入予定

法人契約の導入後は・・・  
○航空会社からの一括請求  
による立替払いの解消  
○有利な割引率  
(通常航空賃の△25%)  
○職員がオンラインシステム  
から航空券を購入  
○キャンセル料が不要



### ② 風通しのよい職場づくりの推進

職場での  
コミュニケーションを図る  
機会の減少

部局をまたがる  
交流の場がない

食生活の乱れや  
運動不足による  
メタボ対象者の増加

県庁組織  
の健康度  
をアップ

#### 「スポーツ健康フェスタ」の開催！

H25年11月

企画段階からタテ・ヨコ  
の垣根をとって！



組織力アップ  
マネジメント意識向上

絆の醸成



団体競技を通し  
組織が一致団結

健康意識のアップ！



講習等で健康  
管理意識の向上

強い絆で組織を元気に！

# (5) 「新時代に相応しい組織」の構築

## ◆効率的で質の高い医療体制の整備

### 【中央病院】

- ・地域周産期母子医療センター認定(H25.7月)

- ・認知症医療の体制強化

### 【三好病院】H26夏開院へ

- ・免震構造の「高層棟」新設

### 【海部病院】H25年度着工へ

- ・全国初となる「高台移転」

### 【地方独立行政法人鳴門病院】

- ・全国初の都道府県引き受け

H25年4月スタート



## ◆「もうかる農林水産業」の推進

- ・H25.3月 国は「TPP交渉参加」表明  
本県の影響額試算 △213億円

間髪入れず  
徳島発の  
政策提言



- ・TPP、グローバル戦略を  
担当する「政策監補」を設置

### ・知の拠点

- 農林水産総合技術支援センター  
「経営感覚に優れた人材」を育成
- ・「海外輸出戦略」の展開

H25.4月  
開設



## ◆未来の徳島発展に向け ～LED王国・徳島の推進

H25.4月  
開設

### LEDサポートセンター開設

- ・「企画・開発」から  
「性能評価」までを  
ワンストップで!
- ・世界にも通用する  
「ISO 17025」の  
性能評価!



トータルサポート拠点機能の充実強化

## ◆組織の集約化・一体的整備 ～運転免許センター等の移転

H26.1月  
運用開始  
予定



- ・既存ストックの有効活用
- ・更新免許証の即日交付  
エリアを全県に拡大
- ・広域緊急援助隊等の  
一時的集結場所

## 2 「新しい公共サービスの仕組み」づくり

### (1) 「新しい行政モデル」の展開

#### ◆震災への備え、スピード感ある条例制定

震災に強い社会づくり条例

- (1) 「津波災害」区域指定を義務付け
- (2) 円滑な移転に向けた「土地利用規制緩和」

規制緩和

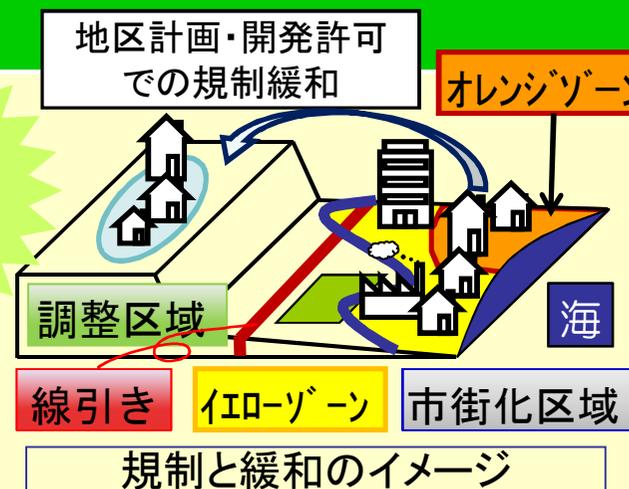
【第1弾】開発許可の基準緩和 (H24.8)

用途変更の拡充、指定業種の拡大

【第2弾】地区計画の県指針緩和 (H25.4)

郊外住宅地、開発誘導の緩和(5ha→2ha以上)

巨大地震に備える条例としては全国初!



#### ◆地域防災力の強化

自主防災組織率 H26目標 「100%」

全国21位

H20.4.1

本県72.1%  
全国71.7%

全国10位

H24.4.1

90.1%  
77.4%



県プラチナ保健師 創設(全国初)

22名登録

- ・退職した「保健師」を登録し、社会貢献を応援
- ・災害時には避難所で健康管理、心のケア等、保健活動をサポート

#### ◆社会資本の効率的運用、長寿命化

橋梁、公園など911施設で「長寿命化計画」を策定

- ・吉野川橋ほか38橋で補修を実施
- ・新たに「トンネル、ダム」の計画づくりに着手

H25年度

コスト縮減効果

橋梁では、今後50年間で約4割の管理費縮減(△410億円)見込み



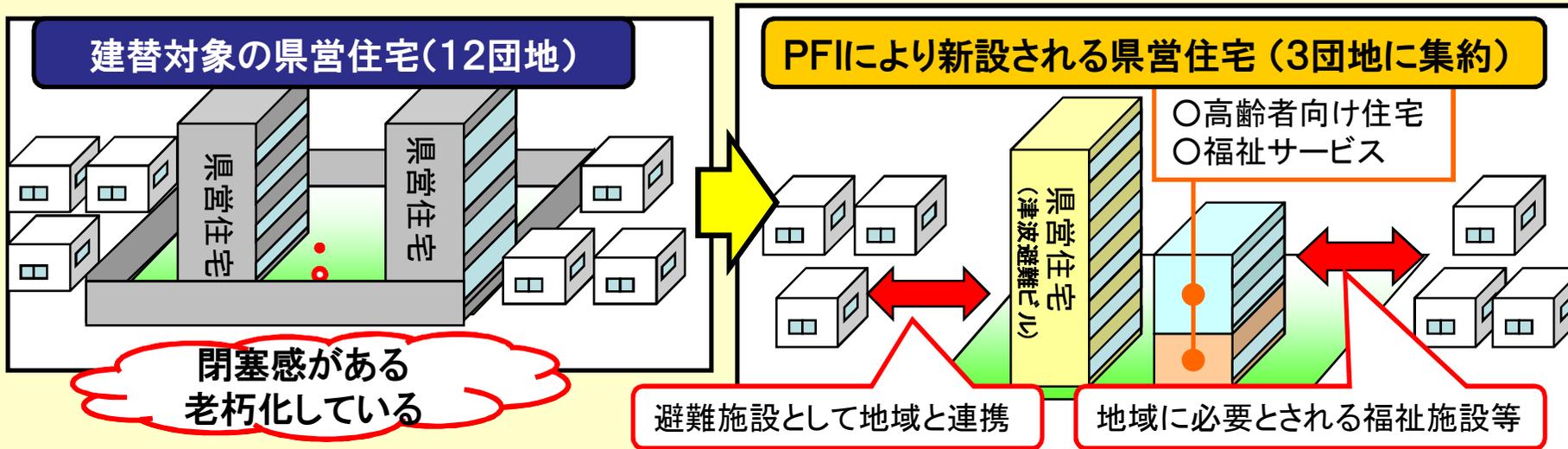
「対症療法型」から「予防保全型」へ!

# ◆民間資金等を活用したPFIの推進

# ～県営住宅集約化事業～

公営住宅としては“全国初”となる入居者管理を含めた一括発注

H25年度整備着手



# ◆森づくり協働戦略 ～県民との協働～

・とくしま協働の森づくり  
協力企業・団体数

目標100社・団体

85団体が実施

協定数  
全国トップ



カーボンオフセットの広域活用！

# ◆LED照明の導入

歩行者用信号灯器

100%LED化

全国初

①節電・省エネ

長寿命化 現行の約10倍  
消費電力 現行の約1/10

②経費節減

リース方式を導入  
5年間で約2,300万円節減

③安全性の確保

視認性が向上

徳島発

関西広域連合でも推進！



## (2) 「地方の時代」に向けた連携強化

### ◆ 挙県一致！ 更なる連携強化

H26年度

本四高速全国共通料金制度導入へ

徳島県が  
格差是正を  
他府県等と  
連携し提言！

### “挙県一致” 対策協議会

- 政策提言に反映
- 関西圏での観光PR
- キャッチフレーズ・ロゴマーク公募



経済界・産業界など  
各界の皆様と連携  
徳島県をアピール

### ◆ 県外大学との就職支援協定

◆ 大学生の  
就職率93.9%  
(H25.3新卒)

**就職  
ミスマッチ**

◆ 中小企業の  
求人倍率3.27倍  
(大企業 0.6倍)

「協定」締結  
(6校)

関西学院・立命館・京都女子  
龍谷・武庫川女子・関西大学

本県進学者800名超

大学での合同 **企業** 県外大学・学生にPR！  
企業説明会 **学生** 地元の就職を身近に！

### ◆ 地域との連携による課題解決



＜南阿波よくばり体験推進協議会(南部)＞

- ・サーフィン、シーカヤック、漁業体験等



＜一般社団法人 そらの郷(西部)＞

- ・農作業体験、そば打ち体験、ラフティング等

「修学旅行」の受け入れを地域振興につなげる！

・体験型教育旅行の受入校数

H18: 1校 → H24: 48校

・体験型教育旅行の受入泊数

H18: 165泊 → H24: 6,924泊

**40倍超**

### 守れ集落・取り組め6次産業化 推進事業

イオン、JA、町との連携

- ・木頭ゆず商品全国販売
- ・地域の食文化を全国発信！



6次産業化で地域を活性化！

### ぐるっと剣山！ 交流促進事業

西部・南部の  
関係市町・団体の連携

- ・共同物産展の開催など



### 「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」 ブランド化戦略推進事業

民間との協働による誘客

- ・外国人誘客の環境整備
- ・体感プログラムイベント応援など

**全国6か所  
中四国唯一  
認定**



「ブランド観光地域」を目指す！

### 3 「県民目線の県政」づくり

#### ◆徹底した「情報公開」の推進

知事部局の情報公開度ランキング  
5年連続全国1位(H19~H23)

#### ◆大災害時における公金供給機能の強化

発災時においても公金を安定的に供給

財務会計システムの  
代替拠点を  
美馬庁舎に設置

H26年度の  
本格実施  
目指す

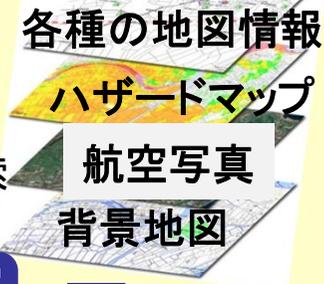


#### ◆県政情報のきめ細やかな提供

インターネットを利用した  
「総合地図情報システム」

- ・災害時の避難場所を簡単検索
- ・スマホなど各種の端末に対応

H25年度中の運用開始予定



#### ◆地域とともにある学校づくり

コミュニティー・スクール  
(学校運営協議会制度)

保護者や地域住民、教職員が  
一体となって学校運営に参画



学校運営協議会の模様  
(東みよし町加茂小学校)

H25年度

新たに  
8校を指定(予定)

- ・県内21校に!
- ・県央部へも拡大

A large suspension bridge with a complex steel truss structure spans across a body of water. The sky is a clear, vibrant blue. In the foreground, the water is turbulent, featuring a prominent whirlpool with white foam. The bridge's cables and towers are visible, extending from the top right towards the left. The overall scene is bright and clear, suggesting a sunny day.

「県民の夢や希望の実現」に向けて

「とくしま未来創造プラン」  
～徳島からの新たな挑戦～